

中日新聞 平成27年5月29日

## ジュニア防災検定合格 雄踏中生が市長に報告

防災検定協会が主催する小中学生向けのジュニア防災検定（JBK）を団体受験した浜松市西区の雄踏中学校の生徒代表が二十八日、市役所で鈴木康友市長にあいさつした。

JBK は子どもたちの防災力を高めることを目指し、二〇一三年から全国で行っている。学年に応じて初級、中級、上級に分かれ、家族で話し合ったことをまとめる事前課題、筆記試験、自由研究をする事後課題の三段階の試験がある。

雄踏中は三月、当時の一年生の百五十五人が中級を受験し、百四十三人が合格した。うち成績優秀だった小野田みなみさん、中村咲喜さん、山下佳南子さんの三人が自由研究の内容などを紹介した。

小野田さんは災害時の持ち物や避難経路を A4 判の新聞にした。中村さんは実際に避難場所に行き、地図付きの作文にまとめた。山下さんは「東海地震」の歴史を調べ、地震の危険性を学んだ。

小野田さんは災害時の対応に関して「今のうちに家族みんなで話し合っておく必要を感じた」と話していた。

（長崎高大）